

2024 年度事業報告書

自 2024 年 4 月 1 日

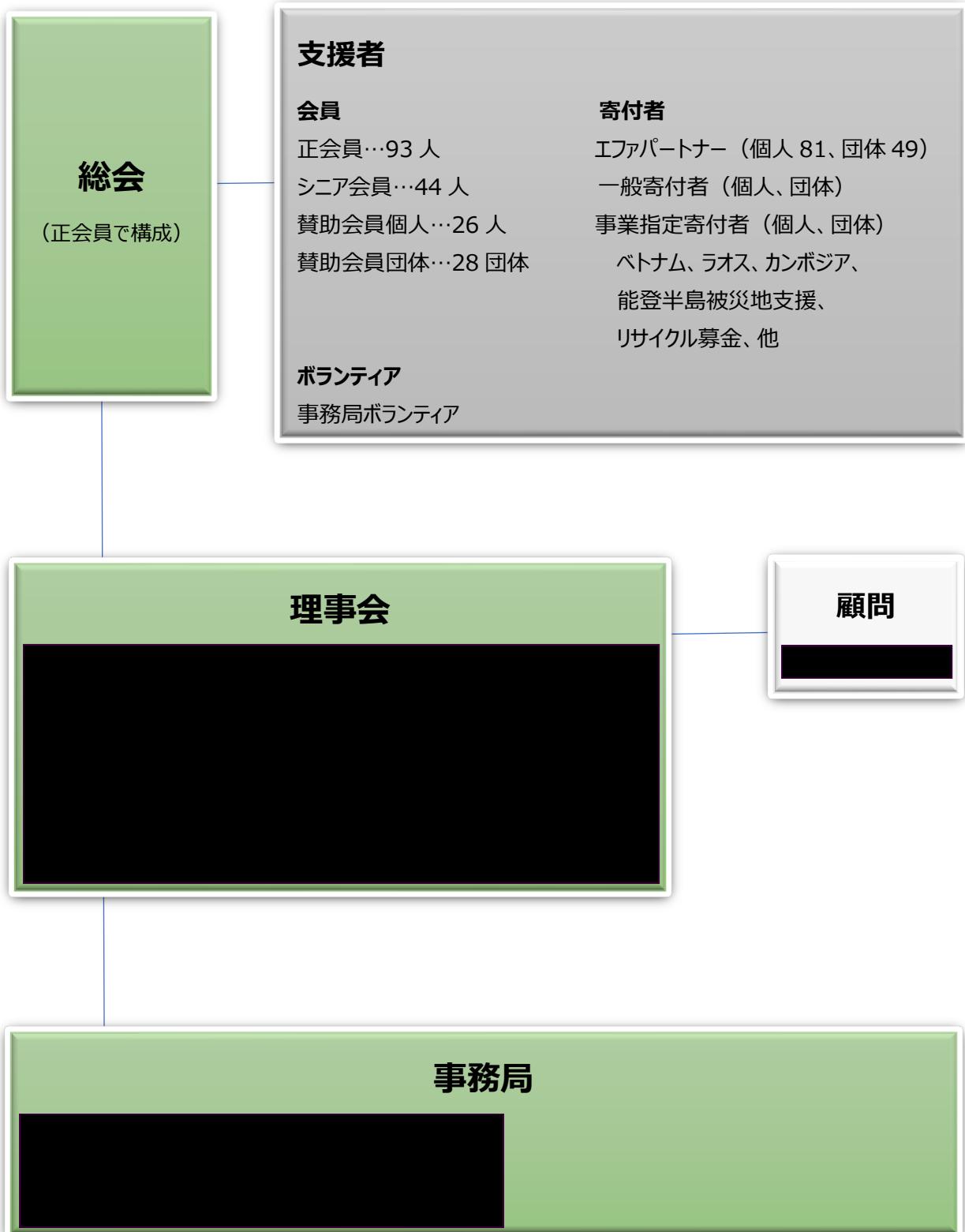
至 2025 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人アジャパン

〒102-0074

東京都千代田区九段南 3-2-2 九段宝生ビル 3F

組織概要 (2025 年 3 月 31 日時点)



ラオス事業

2024年度計画	2024年度報告	2025年度計画
01.ビエンチャン都立図書館支援		
ビエンチャン都立図書館運営管理費支援（東海地連）【ラ-都01】※継続		
<ul style="list-style-type: none"> ●開館時間延長に伴う時間外手当の支給を継続して実施する。 ●ビエンチャン都情報文化観光局に2025年度にエファの支援事業を終了することをリマインドする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●開館時間延長に伴う時間外手当の支給を2024年4月から2025年3月まで支給した。 ●ビエンチャン都情報文化観光局に2025年度にエファの支援事業を終了することを再度通達、了承を得る。 ●2025年1月22日に東海地連委員会にてラオスの新規事業支援に関する提案を行った。 ●ラオス読書推進の事業に支援決定。 	<ul style="list-style-type: none"> ●事業終了
02.学校図書室への支援		
ドングワイ村小学校図書館支援（青森県本部）【ラ-学02】※継続		
<ul style="list-style-type: none"> ●新学期に合わせて図書や文房具を配布する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●10月末に小学校を訪問し、図書と文房具を配布した。 ●12月14日に青森県本部にて報告会を実施（オンライン）。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新学期に合わせて図書や文房具を配布する。 ●図書館設立10周年視察を検討中。 ●ドングワイ村小学校の支援終了と新規小学校図書館整備支援に向けた提案を予定。
サンパンナ村小学校図書館支援（三重県本部）【ラ-学03】※継続		
<ul style="list-style-type: none"> ●新学期に合わせて図書や文房具を配布する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●2025年3月5日に図書と文房具を配布した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●サンパンナ村小学校支援の終了と新規学校の図書館整備支援に向けた提案を予定。
ナーハンケー村小学校図書室支援（東海地連）【ラ-学04】※継続		
<ul style="list-style-type: none"> ●新学期に合わせて図書や文房具を配布する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●11月に小学校を訪問し、図書と文房具の配布をした。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新学期に合わせて図書や文房具を配布。 ●今年度をもって支援終了する旨を学校側に伝えていく。 ●次年度からラオス読書推進の事業への支援移行を東海地連内で検討中。
ビエンチャン都サントン郡小学校図書室支援（広島県本部）【ラ-学06】※継続		
<ul style="list-style-type: none"> ●新学期に合わせて図書や文房具を配布する。 ●学校の状況に合わせてモニタリングを3回実施予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ●2024年9月30日に第1回目のモニタリング実施し、図書や文房具を配布した。報告書は提出済。 ●コロナの影響により、4校の図書館の贈呈式には参加できなかったが、2025年2月4日に広島県本部役員および若手の組合員、計10名が視察を行った。2月5日には、ラオスの新規事業であるパサイ小学校を訪問し、来年度に支援をいただく。 ●視察報告会に関しては未定。 	<ul style="list-style-type: none"> ●2025年9月新学期に合わせて評価会議を実施。 ●広島県本部にラオスの読書推進事業提案書を提出予定。

2024年度計画	2024年度報告	2025年度計画
03.ラオス図書館協会支援		
ラオス図書館協会支援（連合愛のカンパ、自己資金）【ラ-協01】※継続		
●2024年3月連合愛カンパの支援が終了。 ●2024年ウドムサイ県立図書館のPMBシステム導入を支援する予定。本事業実施にあたり情報文化省及び外務省、国立図書館と協働で実施する。 ●国立図書館への蔵書、ラオス図書館協会会长の給与補填、IFLAの会費、エファの図書館協会の会費の支援を行う。	●ウドムサイ県のPMBシステム導入を年内で予定していたが、資金調達上の問題から来期に延期した。 ●エファの自己資金で国立図書館への蔵書、ラオス図書館協会会长給与補填、IFLA会費、エファの図書館協会の会費の支援を9月に実施した。	●2025年度の世界の人々のためのJICA基金の助成金を申請予定。 ●2025年ウドムサイ県立図書館のPMBシステム導入を支援する予定。本事業実施にあたり情報文化観光省（文学出版局）及び外務省、国立図書館と協働で実施する。 ●国立図書館への蔵書、ラオス図書館協会会长の給与補填、IFLAの会費、エファの図書館協会の会費の支援を行う。
04.子ども文化センター（CCC）支援（自己資金）		
子どもの日のイベント等の寄付（自己資金）【ラ-障03】※継続		
●6月1日の子どもの日のイベントのため国立図書館に寄付をする。	●6月3日の子どもの日のイベントに対し、国立図書館に寄付をした。本活動は、国立図書館との協議を踏まえて、今年度をもって終了する。	●事業終了
05.ラオス新規事業		
ラオス新規事業（[REDACTED]、自治労新潟県本部）【ラ-障01】※継続		
●移動図書館を継続実施し、1校につき週に2回訪問する。今年度は15回実施する予定。 ●カウンターパートであるACDA(Aid Children with Disability Association)による障害児に向けた教材、指導の研修実施。 →認知スキル、社会生きるためのスキル、言語使用スキル →知的障害を持つこどもための教育施策 ●2校にデジタルDAISY図書を提供する。 ●子どもの家財団(CHF)の図書室で読書推進活動や音楽、ダンスのレッスンを実施。 ●9月以降に事業評価会議を行う。	●4月から9月までは移動図書館11回を実施した。 ●パサイ学校とサバントーンヌアーカラの4名の教師（各学校から2名）が、Future Lao-Japan Children Organizationによる「発達障害」をテーマとした3日間の研修ワークショップに参加した。 ●マルチメディアディジタル図書の説明会をラオスの国立図書館員に実施した。 ●子どもの家財団(CHF)の図書室で読書推進活動や音楽、ラオスの伝統舞踊のレッスンを実施した。子どもたちに大好評で、夏休みには図書室を一日増やして開館した。 ●10月に事業評価会議を実施した。プロジェクトの実施により、対象校の障害児の読解力や思考力に一定の向上が見られた。特に、移動図書館の活動を通じて、子どもたちが読書への興味を持ち、学習意欲が高まった事例が報告されている。一方で、一部の活動については達成度が期待値に満たず、さらなる改善が求められる分野も確認された。 ●フェリシモ地球村の基金の助成金を取得。 ●インクルーシブ教育促進センター、教育科学研究所と打ち合わせし、2校へのマルチメディアディジタル図書作成の研修会の実施を認めた。 ●近畿地連から支援が合意、2025年度から5年支援をいただいている。	●移動図書館を継続実施し、1校につき週に1回訪問する。今年度は13回実施する予定。 ●2日間かけて、2校の教員を対象に、障害児支援協会およびインクルーシブ教育促進センターによる障害児に向けた教材、指導の研修実施。インクルーシブ教育センターにより研修後にモニタリングと評価を実施。 ●マルチメディアディジタル図書の作成研修会を10月の出張で実施予定。 ●子どもの家財団(CHF)の図書室で読書推進活動や音楽、ダンスのレッスンを実施。 ●2校の図書室で活動を増やす。CHFの図書館員より1校につきに週1回訪問。 ●学校、保護者、地域住民の障害者の理解度を高めるワークショップを行う。 ●2025年度の日本国際協力システム NGO支援の助成金を申請する。 ●近畿地連の支援が開始

2024年度計画	2024年度報告	2025年度計画
06.事業管理費		
ラオス事業管理費（自己資金）【ラ-管01】	<p>●給与手当：ラオスの物価上昇の割合を考慮し11,000,000kip（約96,500円）から14,100,000kip（約100,714円）に増額した。</p> <p>●旅費交通費、通信運搬費、交際費：事務局長と海外事業担当の事業視察を1回、海外事業担当のみの出張3回を予定している。</p>	<p>●旅費交通費、通信運搬費、交際費：海外事業担当の事業評価を1回、海外事業担当のみの出張2回を予定した。</p> <p>●給与手当：ラオスの物価上昇の割合を考慮し14,100,000kip（約100,714円）から17,200,000kip（約117,808円）に増額。</p> <p>●旅費交通費、通信運搬費、交際費：事務局長の事業視察を1回、海外事業担当のみの出張2回を予定している。</p>

ベトナム事業

2024年度報告	2024年度報告	2025年度計画
03. ハイフロン市児童保護基金支援		
アジア子どもの家奨学金基金（栃木県本部）【べ-子01】※継続		
●79人の子どもたちに同額の奨学金と文房具を支給する。奨学金の授与式終了後、報告書を自治労栃木県本部へ提出する。	●2024年7月30日に79人の子どもたちに奨学金と文房具を支給した。奨学金の授与式終了後、報告書を自治労栃木県本部へ提出した。	●45人の子どもたちに奨学金と文房具を支給する。奨学金の授与式終了後、報告書を自治労栃木県本部へ提出する。
05. 事業管理費		
ベトナム事業管理費（自己資金）【べ-管01】		
●業務委託費：ハイフロン市児童保護基金との連絡調整、奨学金事業の報告書の翻訳のため ████████に業務委託する。 ●支払手数料：████████へ業務委託費を送金に伴う手数料。	●業務委託費：ハイフロン市児童保護基金との連絡調整、奨学金事業の報告書の翻訳のため ████████に業務委託契約を更新した。	●業務委託費：ハイフロン市児童保護基金との連絡調整、奨学金事業の報告書の翻訳のため ████████に業務委託する。 ●支払手数料：████████へ業務委託費を送金に伴う手数料。

カンボジア事業

2024年度報告	2024年度報告	2025年度計画
01.国立幼稚園教員養成校（PSTTC）支援		
PSTTC訓練生への奨学金（九州地連）【カ-幼01】※継続		<ul style="list-style-type: none"> ●円安を考慮し奨学生の数は7人になる予定。 ●新学期に合わせて奨学金を支給し、自治労九州地連に報告書を提出する。 ●第7期国民選挙を経て、PSTTCの学生に関する所管が教育青少年スポーツ省から公共事業省に移管された。これにより、PSTTC学生の公式試験の管理や実施も同省管轄下となり、教育体制の再編成が進められていた。PSTTCの採用は2024年10月に実施され、11月に奨学金を支給した。 ●報告書は奨学金の支給を終えて提出する。
04.SCADPプレアビヒア児童保護施設支援		
SCADPプレアビヒア児童保護施設学用品（消耗品）支援（岡山県本部）【カ-童01】※継続		<ul style="list-style-type: none"> ●2025年SCADPが解散する予定。 ●10月以降、22人の子どもたちに対し、制服、教科書、文房具を寄贈し、岡山県本部に報告書を出す。 ●プレアビヒア州の寺子屋教室5ヶ所に通う子どもたちを対象に文房具を配布する。 ●教員指導員の毎月の給与（\$180）、イエン村教室教員の毎月の給与（\$80×3名）を4月から6月まで補填した。
プレアビヒア奨学金基金事業（岡山県職連合）【カ-寺02】※継続		<ul style="list-style-type: none"> ●SCADPの収束・解散に伴い、現奨学生3名への高校卒業までの奨学金支給は、岡山県職連合がその後も支援を継続する予定。 ●3人の奨学金の支給を実施した。
06.SCADP運営支援		
SCADP業務調整委託（自己資金）【カ-運01】※継続		<ul style="list-style-type: none"> ●████████の業務調整費として月に500ドルと交通費を支出する。 ●SCADPの解散まで事業の進捗を確認しながら進めていく。 ●████████の4月から6月まで業務調整費として月に500ドルと交通費を支出した。

2024年度報告	2024年度報告	2025年度計画
08.カンボジア農村部の障害児のライフスキル向上プロジェクト		
カンボジア農村部の障害児のライフスキル向上プロジェクト（自己資金）【カ-障01】※継続		
<ul style="list-style-type: none"> ●3集合村で48人が通うチルドレン・スタディ・クラブ(CSC)の運営を支援する。 ●5月に保護者の義務と子どもの義務について研修を実施。 ●5月から6月にかけて、図書館スタッフを1名募集し、研修を行う。 ●各クラブのボランティア教員を図書館管理研修を実施する。教員の指導の質および48人の障害のある子どもたちの学習能力を向上する。 ●各クラブのボランティア教員を教育・青少年・スポーツ省が実施するインクルーシブ教育研修に参加予定。 ●各チルド・スタディ・クラブでの野菜の植え付けを通じて、子どもたちの生活の質を向上する「僕たちの安心な野菜作り」事業実施。 ●マルチメディアDAISY図書を提供する。 ●9月以降に事業評価会議を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ●3集合村で48人が通うチルドレン・スタディ・クラブ(CSC)の運営を支援した。 ●4月から図書館スタッフを1採用した。 ●5月に各クラブに保護者の義務と子どもの義務について研修を実施した。 ●6月24日~26日に各ボランティア教員をCADDP事務所で図書館管理研修を実施した。 ●各クラブのボランティア教員、プロジェクトマネージャーを含む教育・青少年・スポーツ省が実施する知的障害や自閉症のある子どもたちのためのインクルーシブ教育研修に4月と5月に参加した。 ●安全な野菜を育てる手本となるようにまず子どもの親を6名だけを選択し、安心安全な野菜作りの研修会に参加した。 ●あんのん基金の助成金を取得した。 ●図書館振興財団の助成金を取得した。 ●事業評価会議を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・学習環境整備: チルドレン・スタディ・クラブ (CSC) の設置により、障害児が安全に学べる場所を提供。参加児童数は当初の30人から48人に増加した。安定的な運営実施されている。 ・学習成果: 48人中42人が進級を果たし、基本的な衛生習慣や子どもの権利に関する理解も定着。 ・情報提供とスキル習得: 生計向上のための家庭菜園活動による収入増加や研修会による親と子どもの学びの向上。 <p>ただし、蔵書数不足や図書館員の専門知識不足といった問題が一部の活動成果に影響を与えており、全体的な有効性を最大化するにはさらなる改善が必要である。</p>
09.事業管理費		
カンボジア事業管理費（自己資金）【カ-管01】		
<ul style="list-style-type: none"> ●旅費交通費、通信運搬費、交際費：事務局長と海外事業担当の事業視察を1回、海外事業担当のみの出張3回を予定している。 		<ul style="list-style-type: none"> ●旅費交通費、通信運搬費、交際費：海外事業担当の事業評価を1回、海外事業担当のみの出張2回をした。 ●旅費交通費、通信運搬費、交際費：事務局長の事業視察を1回、海外事業担当のみの出張2回を予定している。

広報

2024年度計画	2024年度報告	2025年度計画
<p>●2024年はエファの20年目の年なので周年イベントを行う。エファ独自で行うのではなく、出版社、図書館などエファの事業と親和性の高い関係者と協働で実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月15日：エファシンポジウム2024「アクセシブルな社会へ～本の飢餓の解決に向かって」、出版記念パーティ：「アクセシブルブックはじめのいっぽ～見る本、聞く本、触る本～」 ・7月、8月：周年招聘プログラム（ラオス事務所スタッフ／ソンパン）+映画祭 ・11月9日：映画祭、トークイベント（[REDACTED]） <p>●気軽にエファを知ることができるオンラインイベントを開催する。</p>	<p>●20周年イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月15日：エファシンポジウム2024「アクセシブルな社会へ～本の飢餓の解決に向かって」、出版記念パーティ（参加者：会場参加25人、オンライン65人、合計90人） ・7月28日～8月8日：ラオス事務所ソンパンスタッフ招へい）7/29自治労愛知県本部懇談会／8/1自治労広島県本部（約100人）／8/2大阪市立中央図書館（約50人）／8/4新宿区立大久保図書館（約30人）／8/6まちだ中央公民館（約30人）。 ・12月7日：未来と一緒に描いてくれる、人とともに-映画「僕が跳びはねる理由」上映と[REDACTED]による曲芸とトークショー（参加者：46人） <p>●オンラインイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月1日、8月29日、1月29日：令和6年能登半島地震オンライン報告会（参加者：5/1・46人、8/29・64人、1/29・69人） 	<p>●6月21日（土）：エファシンポジウム2025映画「疎開した四十万冊の図書」上映と[REDACTED]のトークイベント</p> <p>●年間を通じたオンラインイベントの計画的な開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「本」をテーマとした定期的なオンラインイベント→ビデオポットキャストの可能性を検証 ・能登半島の報告会の開催
02. 外部団体主催イベント【国-02】※継続		
<p>●メーデー中央大会（4月）、自治労中央定期大会、図書館総合展、また国際協力関係などのイベントの出展を検討。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月27日：第95回メーデー中央大会 ・6月29日～7月7日：図書館総合展オンラインPart1 ・11月5～7日：図書館総合展@パシフィコ横浜 ・11月16～24日：図書館総合展オンラインPart2 	<p>●外部のイベントへの出展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月27日：第95回メーデー中央大会 ・8月29日：自治労第98回定期大会 ・11月5～7日：第26回図書館総合展 ・1月26日：文部科学省×藤沢市民活動推進機構「共に学び、生きる 共生社会コンファレンス」 <p>●図書館総合展オンラインPart1：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/29：図書館総合展大集会「エファの準備の舞台裏」ライブ ラオス語、クメール語でマルチメディアDAISYをつくってみた!!全プロセスを公開7/1： 【STEP1】ワードで原稿を作成、7/3： 【STEP2】DTbookへの変換【Word】、7/4： 【STEP3】DTbookからDaisy3へ変換、 【STEP4】リーダーで読み上げ ・7/6：【エファジャパン事業紹介】障害があってもなくても！「誰でも受けとめてくれる」学び、遊べる図書室をつくりたい 	<p>●外部のイベントへの出展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月26日：第96回メーデー中央大会 ・自治労第99回定期大会@栃木県 ・10月22～24日：第27回図書館総合展 <p>※図書館総合展等のイベントに参加している関連企業の職員などへのアプローチを強化</p>
06. 年次報告書の作成【国-06】（2006年～）		
<p>●9月に2023年度年次報告書（500部）を発行する。エファのホームページでもダウンロード可能。マルチメディアDAISYにも対応予定。</p>	<p>●9月に2023年度年次報告書（500部）を発行した。エファのホームページでもダウンロード可能。</p>	<p>●9月に2024年度年次報告書（500部）を発行</p>

2024年度計画	2024年度報告	2025年度計画
07. 広報誌『えんぱわ』の発行【国-07】（2006年～）		
<p>『えんぱわ』 発行は年4回。発行部数は各号6,300部。</p> <p>●特集（予定）： 第73号（6月） 第74号（9月） 第75号（12月） 第76号（3月）</p>	<p>『えんぱわ』年4回発行。発行部数は各6,300部</p> <p>●特集： 第73号（6月）…本がつくるキミの未来のものがたり 第74号（9月）…ラオスと日本の図書館ものがたり 第75号（12月）…能登の置き本 第76号（3月）…外交関係樹立70周年！ラオスへ行こう</p>	<p>『えんぱわ』部数を6,200部に変更</p> <p>●特集： 第77号（6月） 第78号（9月） 第79号（12月） 第80号（3月） 2025年は国連「平和と信頼の国際年」、戦後80年なので平和と信頼をテーマとする</p>
08. メールマガジン「エファ通信」の発行（月1回）（2004年～）【国-08】※継続		
<p>●270～294号（月2回／計12号）を発行。</p> <p>●イベント開催やクラウドファンディング等のキャンペーンの際には特別号を配信。</p> <p>●気軽に読んでもらえるように文字を少なめにすることを検討（ABテストを行い判断する）。</p> <p>●メールマガ配信で利用しているBenchmarkで毎号開封率などのデータの分析を行う。</p> <p>●配信数：700人を目標とする。</p>	<p>●270～297号を発行</p> <p>●配信数：年初539人、現在655人（111人増） イベントの申し込みの際に、メールマガへの登録を呼びかけたため増加した。</p> <p>●開封率平均：34.05%</p> <p>【エファ通信296号】本を見てやりがいを思い出すきっかけになる：38.77%</p> <p>【エファ通信278号】自分の夢のために勉強に励むのよ。お母さんはずっと一緒にいられないからね。：38.10%</p> <p>※メールマガジンの開封率は平均15～20%といわれている。デザインがよいBenchmarkでは23.13%</p> <p>●クリック率：5.34%</p> <p>※メールマガジンのクリック率の平均は2～3%</p>	<p>●月に2回発行</p> <p>●配信目標数：750人</p> <p>●開封率：35%をキープ</p> <p>●クリック率を上げ、コンバージョンを上げるために記事の書き方、コラムの配置を工夫する</p>
09. エファジャパンHP、Facebookページ等管理・更新（2010年～）【国-09】		
<p>●Googleアナリティクスを活用して分析を行う。</p> <p>●HPに20周年特設ランディングページをリリース（4月～）。</p> <p>●「本がつくる キミの未来のものがたり」をキャッチコピーとして露出をしていく。</p> <p>●各SNSの特徴を生かしたITコミュニケーションを行う。</p>	<p>●Googleアナリティクスについては10月以降SEO対策の専門家がプロボノとなり実施する。</p> <p>●20周年特設ランディングページ開設。</p>	<p>●サイト分析をベースにしたウェブサイトのブラッシュアップと拡充</p> <p>●ぐるりと。から一般寄付へのシフトしてもらう取り組みの実施</p>
10. エファジャパンパンフレット印刷（事業内容改訂）【国-10】		
<p>●12月に周年+パートナー募集ポスターを発行。</p>	<p>●12月に「ぐるりと。」のポスターを発行</p>	<p>●12月にポスターを発行</p> <p>●エファパートナーチラシ増刷</p>
11. 展示パネル、活動紹介キット制作【国-11】		
<p>●20周年の「本がつくる キミの未来のものがたり」のパネルを製作する。</p>	<p>●対面よりもオンラインイベントの機会のほうが多いかったため製作しなかった。</p>	<p>●パネル、キット製作の予定なし。</p>

2024年度計画	2024年度報告	2025年度計画
13. 自治労関係広報【国-13】		
●引き続き各県本部との関係強化を進める。各キャンペーン開催の都度、広報協力をお願いしていく。あわせて、広報に使えるツールやイベントなどを提案し、フィードバックをいただきながら改善を進める。	<p>●7月：各県本部宛てに「ソンパンスタッフ来日イベント開催」ならびに「夏募金キャンペーン」の広報協力依頼メール発信</p> <p>●7月、8月：各県本部宛てソンパンスタッフの来日に合わせ自治労愛知県本部、自治労広島県本部で報告会を開催。また、大阪会場では府本部からの呼びかけで複数の組合員が参加。8月5日は自治労本部で████████にご挨拶させていただいた。</p> <p>●自治労全国大会ならびに各県本部主催（栃木、大分、神奈川、熊本）の定期大会、単組代表者会議において、エファの活動動画の紹介、エファパートナー募集リーフレットやリサイクル募金チラシ、12月7日開催チャリティイベント案内チラシを配布頂いた。</p>	●引き続き各県本部との関係強化を進める。各キャンペーン開催の都度、広報協力をお願いしていく。あわせて、広報に使えるツールやイベントなどを提案し、フィードバックをいただきながら改善を進める。
14. その他の媒体への広報【国-14】		
●PR TIMESおよびNEWSCASTにプレスリリースを配信。 ●配信した記事を主にXを活用して拡散する。	<p><プレスリリース配信実績></p> <p>●配信数：4本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/21【開発途上国で読書バリアフリーの実現と本の飢餓の解決を！】"障害があってもなくても誰でも受けとめてくれる、学び、遊べる図書室"をつくるために（掲載メディア：24） ・10/2【緊急支援開始・ご支援のお願い】豪雨災害で大きな被害を受けた石川県珠洲市で温かいごはんと本を届けるレスキューキッチンカー＆ブックカフェ（掲載メディア：24） ・10/29サンダンス映画祭ワールド・シネマ観客賞受賞映画×「江戸太神楽曲芸」でクリスマスチャリティ！（掲載メディア：60） ・12/2【25年も私たちは本を届ける 能登半島、カンボジア、そしてラオスへ（掲載メディア：24） 	<p>●PR TIMESおよびNEWSCASTにプレスリリースを配信。配信した記事を主にXを活用して拡散する。</p> <p>●エファの活動にニュース性を持たせるように発信する</p>
15. 広報用の動画制作【国-15】		
●外部委託による動画製作は高額なため、今期も行わず、事務局内部およびプロボノにより製作する。 ●団体内で自主製作する動画活用した発信を行っていく（ショート動画を中心に。SNSでの日常的な発信や募金キャンペーンのお願いなど）。	●YouTube動画：30本配信	<p>●YouTube動画を製作し、公開する。ショート動画を多く配信する。</p> <p>●Canvaを最大限に活用し、事務局内で質の高い動画を製作できるようにする。</p>

2024年度計画	2024年度報告	2025年度計画
16. 広報グッズの制作【国-16】		
●24年度も各種イベント、募金キャンペーン、クラウドファンディングなど告知、広告用チラシ、ポスターは団体内でデザインを含めて製作する。	●機関紙、年次報告を除く広報物はCanvaを活用して自前で作成した。	●24年度も各種イベント、募金キャンペーン、クラウドファンディングなど告知、広告用チラシ、ポスターは団体内でデザインを含めて製作する。
17. 活動取材【国-17】		
●海外出張するスタッフが、機関誌、募金キャンペーン、SNS素材を収集。 ●海外出張のないときも、現地パートナーに現地のようすをヒアリングしたり、取材を代わりに行っていただいたりと協力を仰ぐ。	●海外出張するスタッフが、機関誌、募金キャンペーン、SNS素材を収集。 ●海外出張がないときは、現地パートナーにヒアリングを依頼。	●海外出張するスタッフが、機関誌、募金キャンペーン、SNS素材を収集。 ●現地パートナーに現地の様子のヒアリングを依頼。また毎月上がってくる報告書を活用する。

ファンドレイジング ※すべてのデータは2025年3月10日までのもの

2024年度計画	2024年度報告	2025年度計画
12.「書き損じハガキ」と「古本募金」募集広報・ポスターの印刷・配布（2010年～）【国-12】		
●目標：50万円。 ●多団体がキャンペーンを行う時期（年末、引っ越しへーション）を外したタイミングでキャンペーンを行い差別化を図る。 ●前期9月から開始した古着を通じた寄付プログラム「Brand Pledge」への参加が好評のため、エファとの関わりの初めの一歩（支援者母数の拡大に向けて）として、積極的な広報を展開していく。	●実績：562,464円（対目標比112%） →BrandPledge（419件） →嵯峨野（53件）	●実績：650,000円
18.会員・エファパートナー【国-18】		
●2024年度目標：会費入金350万円（正会員130万円、シニア会員35万円、賛助会員35万円、団体賛助会員150万円）、エファパートナー190万円（個人80万円、団体110万円） ●新エファパートナー（マンスリーサポーター）を増やすためにも、潜在顧客及び単発寄付の支援者の数を増やすことと、「寄付の成功体験」を感じてもらうコミュニケーション手段を確保する。	●会費実績：2,928,000円（対目標比84%） ●エファパートナー実績：1,678,000円（対目標比：88%）	●会費実績：3,050,000円 ●エファパートナー実績：1,816,000円
20.インターネット募金（クラウドファンディング/Yahoo!ネット募金）【国-20】		
●2024年度目標：クラウドファンディング300万円、国・プロジェクト指定寄付100万円。 ●目新しさが必要なので、アクセシブルな図書開発費用を主題としてクラウドファンディングを呼び掛ける予定。	●クラウドファンディング「障害があってもなくても！「誰でも受けとめてくれる」学び、遊べる図書室をつくりたい」実績：2,427,000円（対目標比80%） ●温かいごはんと本を届ける！石川県珠洲市を走るレスキューキッキンカー＆ブックカフェ実績：1,025,500円（対目標比153%）	●Syncableの通年寄付の機能を用いて100,000円 ●クラウドファンディングは実施しない
25.夏冬募金キャンペーン【国-25】		
●夏募金キャンペーン目標額：200万円 ●歳末募金キャンペーン目標額：200万円	●夏募金：871,103円（対目標比44%） ●歳末募金：864,443円（対目標比43%）	●夏募金キャンペーン目標額：200万円 ●歳末募金キャンペーン目標額：200万円 ●能登半島地震からの支援者に海外事業に関心を持ってもらう取り組みを行う

国内活動

2024年度計画	2024年度報告	2025年度計画
22.開発教育 【国-22】		
●参加型支援メニューの開発を進める。2024年度には試作版をつくり、ヒアリングなどを行う。	●能登半島震災の事業形成などがあり、参加型支援メニューの開発ができなかった。	●学校やイベントなどで取り組める開発教育教材／プログラムを検討する。
23.国内事業（日本国内での支援事業）【国-23】		
●外国ルーツの子どもたちの支援開始のための調査を開始し、2024年下期の事業化を目指す。デジタルブックDAISYの活用を通した母国語、日本語学習の支援を検討。	●能登半島地震の事業形成などがあり、外国ルーツの子どもたちの事業についての調査を実施できなかった。デジタルブックDAISYについては活用ができるように開発を継続中。	●外国ルーツの子どもたちの支援事業のフレームワークを固める。能登半島地震被災地支援が始まり、事業のプライオリティやマンパワーを踏まえて支援のタイミングを検討する。
24.スタディツアーケン連事業【国-24】		
●各支援組織のスタディツアーの受け入れを積極的に行う。 ●20周年事業の一環として、企画主催ツアーアの実施を年度末、もしくは2025年度前半の実施を検討する。	●自治労広島県本部が2025年2月に、ラオスへのスタディツアーを実施。	●各支援組織のスタディツアーの受け入れを積極的に行う。

緊急援助

2024年度計画	2024年度報告	2025年度計画
IV. 緊急援助 【緊急-国-01】		
<p>●災害・紛争などの緊急事態には、事業国以外でも可能な限り対応する。</p>	<p>●日本出版クラブ震災対策室と協働で、公民館や仮設住宅の集会場に本棚を置き、定期的に入れ替えを行う「能登の置き本」事業を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・珠洲市：10カ所 ・輪島市：7カ所 ・能登町：6カ所 ・穴水町：6カ所 ・七尾市：6カ所 <p>●一般社団法人日本食育HEDカレッジの炊き出しの場で、本を届けたり、お話を聞く「奥能登を走る！ブックカフェ」を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回：珠洲市若山小学校、大谷小中学校 ・第2回、第3回：蛸島第6仮設住宅集会場 	<p>●能登の置き本 2か月の一度、モニタリングを実施</p> <p>●奥能登を走る！ブックカフェ ブックカフェを3回実施。能登の置き本のモニタリングにあわせて実施すると交通費などは日本出版クラブ震災対策室持ちなので、開催回数を増やすことが可能なので調整する。</p>

収益事業

2024年度計画	2024年度報告	2025年度計画
<p>03. エファグッズ【国-03】</p> <p>●エファグッズ（海外クラフト）販売は予算規模を縮小し実施（目標売上高16万円）。モノではなく情報の質と露出を高めることで、エファへの関心を集めることを優先的に行うため。ただし、グッズ販売に対するニーズがないかどうかは定期的に自治労（組合員）の方の意見を吸い上げる。</p> <p>●自治労各県本部・単組とのコラボトートバッグについては、同組織との関係構築、加入組合員の認知度向上に寄与するものとして捉え、24年度は積極的な販促を展開する（目標売上高66万円）</p>	<p>●トートバッグ等売上高：254,000円（栃木県本部120,000円、熊本県本部134,000円）</p> <p>●エファグッズ売上高：39,600円</p>	<p>●エファグッズ（海外クラフト）販売の位置づけを踏襲し、エファへの関心を集めるツールの一つとして、イベント開催時（外部主催を主に）での販売を中心に行う。</p> <p>●自治労各県本部・単組とのコラボトートバッグについては、引き続き同組織との関係構築、加入組合員の認知度向上に寄与するものとして捉え、25年度は前年度の2県本部に+1県本部からの受注を目標とする。</p>

組織運営・管理

2024年度計画	2024年度報告	2025年度計画
01. 組織運営・管理【組-01】		
<p>●中期計画：</p> <p>中期計画の見直しを踏まえた健全な組織運営、成長を目指し、自治労本部との間で以後の支援あり方について協議する場を申し入れていく。</p> <p>●実施体制：</p> <p>全治11月以降の体制を継続し、専従3名と業務委託メンバーにて、事業ならびに組織運営を推進していく。</p> <p>●設立20周年の節目を機として、自治労組合員を中心に、エファの取り組みへの認知、共感、参加・支援獲得に向けた広報、イベント、キャンペーン展開を実施していく。</p>	<p>●中期計画：</p> <p>下期に入った時点で、本年度予算の執行状況と今後の見通し分析を行い、踏まえて中期財務計画の見直しに着手。大口寄付の減額速度に対して、多角化を進めている財源の一部、①エファパートナー、②海外事業指定寄付、③助成金の伸びが課題となっている。</p> <p>●実施体制：</p> <p>当初計画から大きな変更なし。</p> <p>●20周年を機に、年間を通じて積極的な発信、キャンペーンを実施。8月にはラオス事務所スタッフを招聘し、名古屋、広島、大阪、東京で各県本部との共催によるイベントを展開。外部主催イベント（図書館総合展）、主催チャリティーイベントの他、複数回のオンラインイベントを実施した。集客、支援者獲得の面では課題が残った。</p>	<p>●中期計画：</p> <p>前年度に実施した現況分析を踏まえ、課題となっている3つの財源の拡大、獲得に焦点をあてていく。助成金獲得については、事務局レベルで目標達成に向けて確実に申請を進めていく一方、エファパートナー拡大、海外事業指定募金の獲得については、その主たるターゲットとなる自治労各県本部、一般組合員へのリーチさえ達しきれていないため、自治労本部等とも協議を重ね具体的な打開策を講じらねうようする。</p> <p>●実施体制：</p> <p>引き続き専従職員3名体制に加えて、アウトソーシングにより支援者対応管理業務、会計業務、一部ファンドレイジング業務を実施していく。</p> <p>●役員改選：</p> <p>本年度、現役員の任期が満了するに伴い、6月に次期役員候補者選考委員会を設置し、候補者を選出、10月23日に理事会を開催して選任を行う。</p>
19.ボランティア【国-19】※継続		
<p>●エファボラデー：</p> <p>作業イベント（発送作業等）があるタイミングで不定期開催し、事務所近郊在住のボランティア希望者を中心に参加を呼びかけていく。</p> <p>●プロボノ：</p> <p>周年記念特設サイトの制作や広報制作物のデザイン分野において協力を呼びかける。</p>	<p>●エファボラデー：</p> <p>6月2回、7月1回、エファ事務所で開催し、各回3-4名の方々にイベント、募金キャンペーン関連のDM発送等をお手伝いいただいた。</p> <p>●プロボノ：</p> <p>プロボノにディレクションを担っていただき、エファ設立20周年特設サイトを製作。同ページは周年後も運用できる内容、構成（「皆さんの大切な一冊を教えてください」をテーマに投稿、体験共有していくプラットフォームを立ち上げ）での作り込みをしていただいた。</p>	<p>●エファボラデー：</p> <p>作業イベント（発送作業等）があるタイミングで不定期開催し、事務所近郊在住のボランティア希望者を中心に参加を呼びかけていく。</p> <p>●プロボノ：</p> <p>海外事業で開発を進めている電子アクセシブル図書（マルチメディアディジタル）で、技術的な課題解決にご協力いただける人材を獲得する。</p>

活動計算書

[税込] (単位:円)

特定非営利活動法人エフアジャパン

自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月31日

【経常収益】

【受取会費】

正会員受取会費	1, 248, 000	
シニア会員受取会費	222, 000	
賛助会員受取会費	280, 000	
団体賛助会員受取会費	1, 250, 000	3, 000, 000

【受取寄付金】

受取寄付金	30, 451, 951	
-------	--------------	--

【受取助成金等】

受取助成金	1, 859, 894	
受取補助金	145, 000	2, 004, 894

【事業収益】

エフアジャパン・国内	310, 150	
イベント収入	223, 000	
その他事業収益	491, 118	1, 024, 268

【その他収益】

受取 利息	17, 042	
雑 収 入	22, 380	39, 422

経常収益 計

36, 520, 535

【経常費用】

【事業費】

(人件費)

給料 手当(事業)	9, 690, 359	
賞 与(事業)	1, 567, 206	
退職給付費用(事業)	503, 415	
通 勤 費(事業)	457, 140	
法定福利費(事業)	1, 694, 146	
福利厚生費(事業)	10, 352	
人件費計	13, 922, 618	

(その他経費)

売上 原価	205, 227	
リース 料(事業)	40, 575	
業務委託費(事業)	11, 946, 878	
広告宣伝費(事業)	844, 565	
印刷製本費(事業)	2, 129, 472	
会 議 費(事業)	81, 171	
新聞図書費(事業)	700, 145	
旅費交通費(事業)	2, 406, 283	
車 両 費(事業)	15, 911	
通信運搬費(事業)	403, 522	
消耗品 費(事業)	210, 154	
修 繕 費(事業)	3, 294	
水道光熱費(事業)	308, 794	
地代 家賃(事業)	2, 616, 881	
保 険 料(事業)	117, 856	
諸 会 費(事業)	71, 802	
租税 公課(事業)	831	
交 際 費(事業)	117, 030	
研 修 費(事業)	8, 743	
支払手数料(事業)	371, 563	
支払助成金(事業)	3, 438	
支払寄付金(事業)	30, 648	
為替差損益(事業)	119, 325	
その他経費計	22, 754, 108	

事業費 計

36, 676, 726

【管理費】

(人件費)

活動計算書

[税込] (単位:円)

特定非営利活動法人エファジャパン

自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月31日

給料 手当	2,942,893
賞 与	422,000
退職給付費用	115,585
通 勤 費	161,080
法定福利費	581,387
福利厚生費	84,573
人件費計	<u>4,307,518</u>
(その他経費)	
印刷製本費	66,755
会 議 費	8,033
旅費交通費	2,450
通信運搬費	365,635
消耗品 費	43,610
水道光熱費	85,579
地代 家賃	695,512
理事会・総会運営費	62,062
保 険 料	14,500
諸 会 費	77,750
業務委託費	2,398,599
リース 料	11,245
租税 公課	7,561
支払手数料	50,875
雑 費	100
その他経費計	<u>3,890,266</u>
管理費 計	<u>8,197,784</u>
経常費用 計	<u>44,874,510</u>
当期経常増減額	<u>△ 8,353,975</u>
【経常外収益】	
経常外収益 計	0
【経常外費用】	
経常外費用 計	0
税引前当期正味財産増減額	<u>△ 8,353,975</u>
法人税、住民税及び事業税	<u>70,000</u>
当期正味財産増減額	<u>△ 8,423,975</u>
前期繰越正味財産額	<u>35,998,598</u>
次期繰越正味財産額	<u>27,574,623</u>

貸 借 対 照 表

特定非営利活動法人エフアジャパン
全事業所

[税込] (単位:円)
2025年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未 払 金	792,220
現 金	380,620	預 り 金	200,021
普通 預金	22,648,082	未払法人税等	70,000
郵便振替口座	3,459,033	流動負債 計	1,062,241
定期預金	1,227,900	【固定負債】	
現金・預金 計	27,715,635	退職給付引当金	2,170,900
(売上債権)		固定負債 計	2,170,900
未 収 金	483,635	負債合計	3,233,141
売上債権 計	483,635	正 味 財 産 の 部	
(棚卸資産)		【正味財産】	
棚卸 資産	51,789	前期繰越正味財産額	35,998,598
貯 蔵 品	32,016	当期正味財産増減額	△ 8,423,975
棚卸資産 計	83,805	【正味財産】 合計	27,574,623
(その他流動資産)		正味財産合計	27,574,623
前払 費用	1,084,689		
その他流動資産 計	1,084,689		
流動資産合計	29,367,764		
【固定資産】		負債及び正味財産合計	30,807,764
(投資その他の資産)			
敷 金	1,440,000		
投資その他の資産 計	1,440,000		
固定資産合計	1,440,000		
資産合計	30,807,764		

【貸借対照表の注記】

正味財産中、使途等が制約された寄付金（指定正味財産）は 651,213円です。計算書類の注記3での内訳を報告します。

財産目録

特定非営利活動法人エフアジャパン
全事業所

[税込] (単位:円)
2025年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)	
現 金	380,620
一般会計	(163,061)
収益事業	(27,734)
ラオス現地現金	(189,825)
普通 預金	22,648,082
中央労働金庫	(16,524,959)
三菱UFJ銀行(メイン口座)	(5,183,811)
ラオス現地預金口座	(20,967)
三菱UFJ銀行(収益口座)	(918,344)
三菱UFJ銀行(予備口座)	(1)
郵便振替口座	3,459,033
郵便振替口座	(3,459,033)
定期預金	1,227,900
三菱UFJ銀行	(1,227,900)
現金・預金 計	27,715,635
(売上債権)	
未 収 金	483,635
JACCS (受取会費・寄付)	(198,846)
きしやぽん	(100)
Syncable	(39,689)
一般財団法人日本出版クラブ	(100,000)
内閣府 補助金未収金	(145,000)
売上債権 計	483,635
(棚卸資産)	
棚卸 資産	51,789
ラオスグッズ	(7,232)
カンボジアグッズ	(44,557)
貯 藏 品	32,016
切手	(31,516)
Quoカード	(500)
棚卸資産 計	83,805
(その他流動資産)	
前払 費用	1,084,689
事務所家賃	(256,410)
事務所更新料	(128,205)
NTT預入テレホンカード (通信費)	(156,705)
サーバーメンテナス料	(99,000)
CHF (ラオス業務委託費)	(17,198)
Sou Sophorn/カンボジア	(149,520)
BPOテクノロジー株 [REDACTED]	(62,700)
概算労働保険料	(211,331)
複合機リース料	(3,620)
その他流動資産 計	1,084,689
流動資産合計	29,367,764

【固定資産】

(投資その他の資産)	
敷 金	1,440,000
投資その他の資産 計	1,440,000
固定資産合計	1,440,000
資産の部 合計	30,807,764

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金	388,603
事業主負担社会保険料	(150,720)

財産目録

特定非営利活動法人エフアジャパン
全事業所

[税込] (単位:円)
2025年 3月31日 現在

事業主負担労働保険料	(174,723)
リコージャパン	(18,040)
イズミヤ	(4,752)
㈱ネットワテクションズ	(2,269)
三菱UFJニコスカード	(5,862)
NGO労働組合国際協働フォーラム	(10,000)
佐川急便㈱	(1,037)
中央労働金庫	(2,200)
広報業務委託費	(19,000)
㈱広報プレイス	(40,842)
タカックス(株)	(125,400)
9Lives合同会社	(133,599)
(有)ヤマトヨ企画	(31,350)
管理業務委託費	(72,426)
預り金	200,021
雇用保険	(83,727)
源泉所得税(給与・賞与)	(70,900)
源泉所得税(顧問料等)	(9,189)
源泉所得税(報酬・料金)	(5,105)
住民税	(31,100)
未払法人税等	70,000
流动負債 計	1,062,241
【固定負債】	
退職給付引当金	2,170,900
固定負債 計	2,170,900
負債の部 合計	3,233,141
正味財産	27,574,623

正味財産中、使途等が制約された寄付金(指定正味財産)は 651,213円です。

2024年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人 エファジャパン

2025年 3月31日 現在

ページ 1

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日策定 2017年12月12日改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

（1） 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は法定評価方法によっています。

（2） 引当金の計上基準

・退職給付引当金：職員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく期末法人都合要支給額により計上しています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位：円)

	定款第5条第1項に係る事業 (A)				定款第5条第2項に係る事業 (B)	定款第5条第3項に係る事業 (C)		事業部門計 A+B+C=D	管理部門 (E)	合計 (D+E)
	ペトナム事業	ラオス事業	カンボジア事業	海外共通		緊急支援	国内事業			
I. 経常収益										
1. 受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	3,000,000	3,000,000
2. 受取寄付金	100,000	515,508	1,050,576	2,427,000	1,035,500	0	0	5,128,584	25,323,367	30,451,951
3. 受取助成金等	0	959,894	900,000	0	145,000	0	0	2,004,894	0	2,004,894
4. 事業収益	0	0	0	0	300,000	414,118	310,150	1,024,268	0	1,024,268
5. その他収益	0	0	0	0	0	21,980	0	21,980	17,442	39,422
経常収益 計	100,000	1,475,402	1,950,576	2,427,000	1,480,500	436,098	310,150	8,179,726	28,340,809	36,520,535
II. 経常費用										
1. 人件費										
給料手当	254,990	3,707,618	2,422,132	0	3,580,393	1,104,115	188,317	11,257,565	3,364,893	14,622,458
退職金								0	0	0
退職給付費用	13,446	139,979	139,979	0	161,790	40,341	7,880	503,415	115,585	619,000
通勤費	14,161	136,488	136,488	0	124,923	36,093	8,987	457,140	161,080	618,220
法定福利費	43,100	421,777	406,443	0	602,622	188,027	32,177	1,694,146	581,387	2,275,533
福利厚生費	0	10,352	0	0	0	0	0	10,352	84,573	94,925
人件費 計	325,697	4,416,214	3,105,042	0	4,469,728	1,368,576	237,361	13,922,618	4,307,518	18,230,136
2. その他経費										
仕入高（売上原価）	0	8,384	0	0	0	0	196,843	205,227		205,227
事業支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リース料	1,055	10,347	10,346	0	14,161	3,976	690	40,575	11,245	51,820
プロジェクト費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業務委託費	77,536	3,113,990	6,736,404	0	797,319	1,178,923	42,706	11,946,878	2,398,599	14,345,477
広告宣伝費	0	0	0	0	0	844,565	0	844,565	0	844,565
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	0	0	2,129,472	0	2,129,472	66,755	2,196,227
会議費	0	0	0	0	4,522	76,649	0	81,171	8,033	89,204
新聞図書費	0	447,300	0	0	252,845	0	0	700,145	0	700,145
旅費交通費	0	671,856	559,078	0	659,872	515,477	0	2,406,283	2,450	2,408,733
翻訳通訳費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両費	0	15,911	0	0	0	0	0	15,911	0	15,911
通信運搬費	0	19,605	2,281	0	3,404	373,223	5,009	403,522	365,635	769,157
消耗品費	0	68,601	0	0	100,071	39,811	1,671	210,154	43,610	253,764
備品費								0	0	0
修繕費	0	3,294	0	0	0	0	0	3,294	0	3,294
水道光熱費	8,029	78,742	78,742	0	107,769	30,262	5,250	308,794	85,579	394,373
地代家賃	65,250	747,219	639,951	0	875,855	245,942	42,664	2,616,881	695,512	3,312,393
理事会・総会運営費								62,062	62,062	62,062
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設等評価費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保険料	0	97,511	20,345	0	0	0	0	117,856	14,500	132,356
諸会費	0	71,802	0	0	0	0	0	71,802	77,750	149,552
租税公課	0	831	0	0	0	0	0	831	7,561	8,392
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交際費	0	18,212	10,258	0	0	88,560	0	117,030	0	117,030
研修費	0	7,993	750	0	0	0	0	8,743	0	8,743
支払手数料	6,500	56,238	59,256	0	0	239,944	9,625	371,563	50,875	422,438
支払助成金	0	3,438	0	0	0	0	0	3,438	0	3,438
支払報酬料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払寄付金	0	30,648	0	0	0	0	0	30,648	0	30,648
支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
為替差損	0	119,325	0	0	0	0	0	119,325	0	119,325
雜費	0	0	0	0	0	0	0	0	100	100
その他の事業支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他経費 計	158,370	5,591,247	8,117,411	0	2,815,818	5,766,804	304,458	22,754,108	3,890,266	26,644,374
経常費用 計	484,067	10,007,461	11,222,453	0	7,285,546	7,135,380	541,819	36,676,726	8,197,784	44,874,510
当期経常増減額	▲ 384,067	▲ 8,532,059	▲ 9,271,877	2,427,000	▲ 5,805,046	▲ 6,699,282	▲ 231,669	▲ 28,497,000	20,143,025	▲ 8,353,975

2024年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人 エファジャパン

2025年 3月31日 現在

ページ2

3. 用途等が制約された寄付金等の内訳

複数年度にわたり用途等が制約された寄付金等の内訳は以下のとおりです。

当法人の正味財産は、 27,574,623 円ですが、 そのうち 651,213 円は、下記のように用途が特定されています。
したがって、用途が制約されていない正味財産は 26,923,410 円です。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
●ラオス					
自治労東海地区連絡協議会 ビエンチャン都立図書館・多目的ホール運営管理費支援 (支援期間: 2018年11月~)	271,014		211,842	59,172	
自治労青森県本部 ドンクワイ村小学校図書館支援 (支援期間: 2019年1月~)	30,000	30,000	34,717	25,283	
自治労三重県本部 サンパンナ村小学校図書館支援 (支援期間: 2019年9月~)	50,000	50,000	49,784	50,216	
自治労東海地区連絡協議会 ナーハンケー村小学校図書室支援 (支援期間: 2018年11月~)	100,000	100,000	135,715	64,285	
自治労広島県本部 サントン郡小学校図書室支援 (支援期間: 2020年1月~2024年12月)	284,095	-	226,557	57,538	
自治労広島県本部 サントン郡小学校図書室支援 自治労本部(調整費) (支援期間: 2020年1月~2024年12月)	105,819	-	45,311	60,508	
●カンボジア					
一般社団法人鹿児島県労働者福祉協議会 (支援期間: 2012年4月から~2023年3月)	-	300,000	300,000	-	
●緊急援助					
奥能登を走る！ブックカフェ クラウドファンディングからの寄付	-	1,025,500	691,289	334,211	
合計	840,928	1,505,500	1,695,215	651,213	

4. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
(投資その他の資産) 敷 金	1,440,000	0	0	1,440,000	—	1,440,000
合計	1,440,000	0	0	1,440,000	0	1,440,000

5. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

(1) 事業費と管理費の按分方法

- 共通する経費のうち、給料手当、賞与手当、法定福利費、旅費交通費（人件費分）については、従事割合に基づき按分しています。
- 共通する経費のうち、地代家賃、水道光熱費、リース料については、人件費の従事割合及び従事期間に基づき按分しています。

令和6年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人 エファジャパン

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ)	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
1	理事・監事	伊藤 道雄 イトウ チオ	R6年 4月 1日 ～ R7年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
2	理事・監事	石上 千博 イシガミ チヒロ	R6年 4月 1日 ～ R7年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
3	理事・監事	木下 究 キナシタ モトム	R6年 4月 1日 ～ R7年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
4	理事・監事	玉井 一匡 タマイ カズマサ	R6年 4月 1日 ～ R7年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
5	理事・監事	マナベ (オオタ) アリサ 真鍋 (太田) 阿利佐 マナベ (オオタ) アリサ マナベ (オオタ) アリサ	R6年 4月 1日 ～ R7年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
6	理事・監事	渡戸 一郎 ワトコ 仔ゆ	R6年 4月 1日 ～ R7年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
7	理事・監事	栗本 正則 クリモト マサノリ	R6年 4月 1日 ～ R7年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
8	理事・監事	青木 真理子 アキ マリコ	R6年 4月 1日 ～ R7年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
9	理事・監事	関 尚士 セキ ヒサシ	R6年 4月 1日 ～ R7年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
10	理事・監事	八巻 由美 ヤマカユミ	R6年 4月 1日 ～ R7年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日

事業報告用

11	理事・監事	ナカヤマ マサユキ 中山 雅之		R6年 4月 1日 ～ R7年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
----	-------	--------------------	--	------------------------------	---------------------

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人 エファジャパン

	氏名
1	伊藤 道雄
2	植本 真砂子
3	関 尚士
4	井ノ口 登
5	石上 千博
6	木下 究
7	青木 真理子
8	遠藤 幹夫
9	大島 康治
10	遠藤 幹夫
11	鎌倉 幸子